

令和2年度 第1回岐阜市立図書館協議会 議事概要

開催日時：令和2年10月5日（月）午前10時00分～11時30分

開催場所：ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席者：＜会場＞

アンドリュー・デュアー委員長、石田晴美委員、

中村正信委員、林恵哲委員、堀井美紀委員

＜オンライン＞

天野治子委員、内沼晋太郎委員、蒲勇介委員、高橋綾子委員、武山康弘委員、

中井孝幸委員、前田利之委員、久津輪雅委員、山田智直委員、米原木ノ実委員

（事務局）吉成総合プロデューサー、川合館長、野々山係長、梅村係長、土谷係長、

中村係長、白崎係長、今尾副主査、見廣副主査、野村主任

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

1 電子図書館サービスの導入と資料収集について

・紙書籍は同じ本でもそれぞれ蔵書にカウントするか。また電子書籍は複数人が同時に借りられるか。

→同じ紙書籍はそれぞれを蔵書数としてカウントしている。

電子書籍も1度に借りられるのは1名である。（事務局）

・選書基準をしっかりとって。シビックプライドとのつながりも考えられる。

・岐阜市の地域資料のデジタルアーカイブへもつなげて。

・分類別の貸出し状況を踏まえて進めて。

・コロナ禍だからというだけでなく、長期的な展望をもって。

・地理的な壁を乗り越えられる。

・県図書館の電子書籍との住み分けと連携を。

・外国人への配慮も。

・視覚障がい者への配慮をお願いする。

・蔵書数に含むかは1、2年の実績を見ながら検討しては。

2 第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画の策定に係る調査・研究について

・コロナ禍により子どもたちの図書館利用がこれまでと異なっており、アンケートが現状に合わないことを危惧

→コロナ禍以前の状態で回答いただくことをお願いする（事務局）

・質問項目が多いのではないか。

・図書館と学校の距離も考慮に入れてほしい。

・電子書籍は子ども自身ではなかなか手に入れないため、利用状況から電子書籍に興味がないと安易に判断することは注意いただきたい。

・集計に学校で配布しているタブレットを使用してはどうか。

・先生に対するアンケートも実施してほしい。

・障がいのある子などマイノリティについても対応を考えてほしい。